

日本ビジネスコミュニケーション学会 ニュースレター

2009年8月20日

第3号

いよいよ9月12日(土)・13日(日)です!

日本ビジネスコミュニケーション学会第1回年次大会の詳細ご紹介

本大会のテーマを「社会に貢献するビジネスコミュニケーションを目指して ― 研究と実践のコラボレーション ―」といたしました。

研究と実践による社会貢献を目標とする本学会の設立目的と活動意義を表わすテーマです。この趣旨に基づいた大会プログラムが決まりました。一般と学生会員からの研究発表をはじめとして、次ページに掲載しましたように記念講演、特別講演、シンポジウム、英語パネルディスカッションなど、多彩に構成しておりますので、みなさまのご参加をお待ちします。

日本ビジネスコミュニケーション学会会長のご紹介

このたび、本学会の会長に就任されました高坂 節三先生をご紹介します。氏は京都大学経済学部ご卒業後、実業界の要職を歴任され現在、公職は東京都教育委員をされています。

研究と実践のコラボレーションという当学会の設立趣旨に共鳴していただき、会長の労をお引き受けくださいましたので、謹んでご紹介させていただきます。

学会理事長 北出 亮 (拓殖大学 商学部教授)

1936年生まれ。1959年京都大学経済学部卒業。同年伊藤忠商事入社。伊藤忠アメリカ会社執行副社長、常務取締役中南米総支配人、本社常務取締役などを歴任後、1995年栗田工業代表取締役に就任。1999年同取締役会長。その間、拓殖大学客員教授、外務省外務人事審議会委員、経済同友会幹事(諮問委員)同憲法調査会委員長などを務め、現在はコンパス・プロバイダーズLLCゼネラル・マネジャー、東京都教育委員。

著書に『昭和の宿命を見つめた眼一父・高坂 正顕と兄・高坂 正堯』(PHP研究所)、『国際資源・環境論』(都市出版)、『経済人から見た日本国憲法』(PHP新書)。父は哲学者高坂 正顕、兄は政治学者・高坂 正堯。



高坂 節三 学会会長

ABCJ

学会の略称
(書体のデザインは制作中)

学会の英文名と略称が決まりました

本学会の英文名と略称が、第6回運営委員会の審議を経て以下のように決まりました。

Association for Business Communication in Japan 略称 ABCJ (呼称 エービーシージェイ)
なお正式な英文表記のフォント(書体)と略称のロゴタイプ(書体のデザイン)は制作中です。

目次

第1回年次大会のご案内	1	発表(1) 一般会員	3	関西支部 発会の報告	6
高坂会長のご紹介	1	発表(2) 学生会員	4	学会入会のご案内	7
第1回年次大会プログラム	2	連合ゼミ報告	5	大会・懇親会へのお誘い	8

第1回年次大会 プログラム

● 印は 大教室C501で開催、■、★印は表記の会場で開催

大会テーマ：社会に貢献するビジネスコミュニケーションを目指して ―研究と実践のコラボレーション―

第1日 9月12日（土）

- 10:00～12:00 ■ 研究発表 (1) C館大教室 C501 一般発表 4
(2) C館中教室 C507 学生発表 5
(3) C館中教室 C514 学生発表 5
- 12:00～13:00 昼食 (60分) H館食堂または学外
- 13:00～13:50 ● 講演 大教室C501 司会：高野 由美
「東京ディズニーランドのコミュニケーションカ― お客様と社員の期待の醸成」
志澤 秀一 氏 (文化計画 代表取締役)
- 14:00～14:30 ● 開会式 司会：和田 まり子
開会の辞 高坂 節三 (日本ビジネスコミュニケーション学会会長)
来賓挨拶 絹巻 康史 氏 (国際商取引学会 前会長)
来賓挨拶 川島 彪秀 氏 (国際コミュニケーション科学学会 会長)
来賓挨拶 土屋 秀雄 氏 (国際ビジネスマンクラブ 会長)
- 14:30～15:20 ● 記念講演「日本はアジアにどう向き合うか」 司会：和田 まり子
渡辺 利夫 氏 (拓殖大学 学長)
- 15:40～16:40 ● シンポジウム 司会：小池 保
「社会に貢献するビジネスコミュニケーションを目指して」
パネリスト：高坂 節三 (ABCJ学会会長・東京都教育委員)
絹巻 康史 氏 (国際商取引学会 前会長)
川島 彪秀 氏 (国際コミュニケーション科学学会 会長)
北出 亮 (学会理事長・拓殖大学教授)
- 17:00～19:00 ★ 懇親会 H館 1階

第2日 9月13日（日）

- 09:30～11:30 ■ 研究発表 (1) C館大教室 C501 一般発表 3
(2) C館中教室 C507 学生発表 5
- 11:40～12:30 ● 特別講演 司会：高野 由美
「コミュニケーション領域におけるビジネスコミュニケーション」
川島 彪秀 氏 (国際コミュニケーション科学学会 会長
日本大学名誉教授)
- 12:30～13:20 昼食 (50分) 大学周辺の店を利用
- 13:20～13:50 ● 総会 議長：北出 亮 司会：高野 由美
(1) 第1回年次大会挨拶 (北出) (2) 今年度の活動 (長尾)
(3) 予算報告 (坂田) (4) 英文学会名 (近藤)
(5) 会則 (近藤) (6) 役員 (北出)
- 13:50～14:40 ● 特別講演「国際商取引と交渉」 司会：高野 由美
絹巻 康史 氏 (元 拓殖大学教授・国際商取引学会 前会長)
- 15:00～16:00 ● 英語パネルディスカッション
Coping with new business challenges in the context of global financial crisis — From the perspectives of business communication
パネリスト：近藤 忠義、江中 八郎、R.Goetz 司会：鄭 偉
- 16:00～16:20 ● 閉会式 (1) 学生表彰式 審査委員長：鄭 偉 司会：井出 芳美
(2) 挨拶：中林 眞佐男 (学会副理事長)

大会発表テーマと発表者 (1) 一般発表

12日 10:00~12:00 C 501

- 1 確認型応答の研究と普及活動
浅野 良雄 (対話法研究所 所長)

対人コミュニケーションの重要概念の一つ「共感(的理解)」に代わる概念としての、「確認型応答」への着眼の重要性について、この概念を採用して各地で行われている研修や授業の成果を踏まえながら、明らかにしてゆく。

- 2 企業の間(管理職)層に求められるコミュニケーション力
斎藤 潔 (組織コミュニケーション コンサルタント)

企業環境の変動が大きい。特に価値観も就業形態も異なる多様なビジネスパーソンが競争しつつ協働し結果を出す事が組織社会では求められる。如何に社員のモチベーションを高めるかも難題だ。特に上層部と部下とに挟まれた中間(管理職)層の悩みは増大している。研修時の独自アンケートなどから浮かび上がる中間(管理職)層のコミュニケーション実態を示し処方箋を考える。

- 3 「マス」の希薄化から始まった、新たなコミュニケーションの模索 — 広告最前線に探る —
小池 保 (尚美学園大学 芸術情報学部教授)

「マス」の存在が希薄化し新聞・テレビの経営すら弱体化し始めた。多極分散した価値観をどうターゲットにするか、新たなコミュニケーション模索の時代である。広告ビジネスで活発化しつつある、マスを前提としないコミュニケーションの創成へ向けた動きを整理しその課題を探る。

- 4 ビジネスコミュニケーションとは何か — 歴史的視点からの考察 —
北出 亮 (拓殖大学 商学部教授)

ビジネスコミュニケーションは新しい研究分野で、これまで経営学、組織学、社会学、行動科学、経営実務、情報学、貿易・商取引など多領域に跨り、時代の変化と共に発展したため全体像は捉えにくかった。そこで戦前、戦後、高度成長期、そして現在の日本のビジネスコミュニケーションを史的に検討し、全体像と将来のあり方を探る。

13日 09:30~11:30 C 501

- 1 記録管理の日米比較 — 事務機変遷の視点より —
中林 眞佐男 (千里金蘭大学 生涯学習センター講師)

貿易摩擦のひとつの要素となったほどの日本の事務機であるが、年金記録問題に象徴されるように、記録の保存管理の面から日米を比較すると、その差は大きい。発表では、戦後の日米関係を事務機開発の視点から検証することを通し、記録管理システムの重要性を強調したい。

- 2 Development of a 360-Degree Feedback survey instrument
Richard Goetz (Doctor-Intercultural Management 博士-異文化経営)

360-Degree Feedback surveys, also called multi-rater feedback, multi-source feedback, full circle appraisal and group performance review, are a very powerful tool for inducing personal and organizational change. This presentation gives a brief background and latest industry trends on this relatively new human resources development tool and reports on practical issues involving the development and planning of such a survey in the setting of large Japanese manufacturer.

- 3 海外赴任者向けの新たな異文化研修方法およびその効果についての研究
— 中国赴任者向けの異文化研修のケースを通して —
鄭 偉 (拓殖大学 商学部講師)

導入は進んだが、「赴任前」研修しか行われていないなど、問題点も指摘される海外赴任者向けの異文化研修。発表では、Communication-Oriented Approach 及び Dialogue Approachを取り入れ、更にEランニング&レビュー、電話コーチングも組み合わせた「赴任後」研修の有効性について、中国向けの研修事例を通して検証する。

大会発表テーマと発表者 (2) 学生発表

12日 10:00~12:00 C 507 「企業理念・文化とビジネスコミュニケーション」

- 1 企業活動における社訓力の実証的研究 (小池ゼミ) 石井 詩織・應武 茜・篠宮 諒
- 2 CSRにおけるコミュニケーションの効用と課題
(北出ゼミ) 小林 宗一郎・祝田 喬史・大木 広・佐々木 悠輔
- 3 日系小売業の中国進出におけるコミュニケーションの課題
(北出ゼミ) 魏明洋・白雪・細渕舞・劉曉恵
- 4 日中間のコミュニケーションに対する意識の差異
(太田ゼミ) 佐藤 花菜・張 浩・内山 淳・栗原 春樹・石浦 知恵・柳田 正信
- 5 海外で消費される日本の「ANIME」と「日本文化」
— 『もののけ姫』に見られるグローバル社会における日本文化の受容 —
(鄭ゼミ) 荒井 研祐・古山 優志・毛利 元彦

12日 10:00~12:00 C 514 「組織内コミュニケーション」

- 1 年齢と役割がビジネスコミュニケーションに及ぼす影響 — 上司と部下の関係を中心に
(長尾ゼミ) 本間 圭佑・浅松 貴・小林 直史・佐藤 陸
- 2 離職者の急増とコミュニケーションの関係 — どうして若者に離職者が増えているのか
(北出ゼミ) 下山田 周平・海老原 孝介・剣持 佳宏・米川 舞
- 3 企業がコミュニケーション能力を重要視する理由とは？
— 日本と米国における社内コミュニケーションと交渉 —
(北出ゼミ) 渡部 麻美・小浅 佑介・大崎 絵理・荒川 友美子
- 4 コミュニケーション能力における学生と企業の認識差
(北出ゼミ) 竹谷 尚也・清水 彰・中村 竜也・大武 清勝・小林 裕和
- 5 第一印象とその後の対人評価はどのように形成されるのか — 初頭効果の概念から
(長尾ゼミ) 鳥海由加里・岩屋春菜・小菅崇成・イ ウンヒョク

13日 09:30~11:30 C 507 「ビジネス活動とコミュニケーション」

- 1 接客時におけるコミュニケーションの差異 (北出ゼミ) 豊田 諒・田中 香織・中村 彩子
- 2 ネットショッピングにおけるコミュニケーションの課題
— 大学生へのアンケート調査から見えてくるもの
(長尾ゼミ) 滝 麻美・佐藤 和紀・高野 健一郎・原田 文博
- 3 文化消費装置としてのディズニーランド
— ディズニーのCM広告の記号論分析から読み取る社会的メッセージ —
(鄭ゼミ) 美波 知治・曹 爾超・武藤 賢二郎
- 4 白戸家は典型的な現代日本家族、ではないですか？
— ソフトバンクCMから読み取る現代日本社会のコミュニケーション —
(鄭ゼミ) 山本 和也・田中 正行・ヨウ ネイ
- 5 結婚したいなら「婚活」すべきか？
— 『婚活』から読み取る現代社会における権力とコミュニケーション —
(鄭ゼミ) 榎並 知美・楊 成娟・胡 瑛

連合ゼミ報告 第4回連合ゼミ運営委員会議事録

- 日時：2009年8月7日（金） 13:00～15:00
- 場所：拓殖大学 D館301教室
- 出席者：望月、伊藤、小杉山、米川、岩屋、佐藤、川守田、渡辺、大熊、栗原、小浅、祝田、應武
- 進行：議長：米川、書記：伊藤、議事録：小杉山、應武

1. 発表数の最終確認

北出ゼミ…6組、太田ゼミ…1組、小池ゼミ…1組、長尾ゼミ…3組、鄭ゼミ…4組

2. 3行要旨確認

3行要旨は8月10日までに学術局に提出（プログラムに記載）のため各ゼミの発表者は確認する。
学会発表の完成原稿は9月8日までに学術局に提出。

注意：3行要旨はプログラムに載せるため来てもらう人にアピールすることを意識して書くこと。

3. 学会当日の各ゼミ控え室の割り振り

C509…小池ゼミ、C510…太田ゼミ、C511…ブルーカゼミ、C512…長尾ゼミ、C513…北出ゼミ
C515…鄭ゼミ

注意：C508教室は予備室となるため何か準備がある場合はここを使用。

また、C502～C506教室までは一般発表の控え室のため注意。

4. 日本ビジネスコミュニケーション学会の仕事の割り振りと担当

太田ゼミ…メーリングリスト作成（excel使用）今回は懇親会の参加・不参加のリスト作成のみ
北出ゼミ…前日準備→会場設営

小池ゼミ…受付 仕事 ① 受付担当（会員・非会員・学生・来賓）

② 集金…入会費、参加費（非会員）、懇親会費（3500円・学生500円）

鄭ゼミ…懇親会準備・12日（土）懇親会受付

長尾ゼミ…当日作業（議事録・写真・案内・パワーポイント）

5. 懇親会について

日時：2009年9月12日（土） 17:00～19:00

会費：一般3500円、学生500円（学生の会費はゼミ単位で集めること）

6. 打ち上げの提案（打ち上げ+第2回懇親会）

日程：2009年9月14日（月） 時間未定

・案→運動会（拓殖大学グラウンド or 体育館）、BBQ、飲み会 この中から決定予定

7. 次回の学会運営委員会担当ゼミ

8月29日（14:00～18:00）…小池ゼミ

9月25日 …ブルーカゼミ

8. その他

・学会年次大会当日の名札は、名札のフォーマットを各ゼミに送信するのでそれを使用し作成。

・学会年次大会当日はスーツ着用。

・連合ゼミを休む場合は、議案をあらかじめ議長に提出すること。

● 連絡事項

・各ゼミ学会発表の前日と当日何名参加できるか確認すること。

・8月10日までに3行要旨を鄭先生まで提出。

・9月8日までに完成発表原稿を鄭先生まで提出。

関西支部のページ 「発会」のご報告

- 日時：2009年8月8日（土曜日）
午後2：00～5：00
- 場所：大阪産業大学・梅田サテライト
キャンパス
- プログラム：
発起人の中林 眞佐男・西口 博之が
主宰・司会、
議事録：西口 博之



関西支部会員のみなさん

1. 自己紹介：参加者14名＝経歴などを
含めて詳しい自己紹介を
行う。多士済々との印象を
受ける。
2. 新学会設立の経緯について：中林より
北出 亮先生と長尾 素子先生とは個人的に懇意にさせていただき、今回の設立趣旨をお聞きして
共鳴した。
お二人とも、「日本コミュニケーション学会」の活性化に尽され、関西支部については2004年
に関西外大でCAJ年次大会を開き、関西支部の会員を倍増できた。このような関係から、関西支
部の立ち上げを決意し、西口先生のような情熱家と寿司会談を持ち、今回の発会にいたった。
しかし、サポーターあつての中林なので、皆様のご支援をお願いしたい。
3. 役員の決定：支部長 中林 眞佐男 事務局長 西口 博之 他は将来的に会計など検討。
9月の年次大会総会に報告する。
4. 研究発表：パワーポイントで解説
(1)「新しい教材のソフト開発」岡本 和三氏（あすなろ塾経営）
(2)「記録管理の日米比較 一事務機変遷の視点より」中林 眞佐男（千里金蘭大学）
(3) 研究テーマと論文・著書の披露（各人15分程度）
時間切れとなり、開催行事の案内をする。田中 典子、高橋 美佐、中林 眞佐男より
5. 2010年次大会開催の件：もし関西で開催してほしいという希望があれば検討する。その後でも
良いが、会場校の第一候補は「平安女学院大学」（京都市）となろう。
6. 関西支部の運営について討議
①年3回支部研究会を開催する。次回は忘年会を兼ねて、12月上旬に開催する予定。
②関西での発表も本部の紀要に掲載してほしい。

- 懇親会：参加者10名 「ミュンヘン大使館」

- 添付資料：関西支部会員名簿（平成21年度8月8日現在20名）を受領しました。
（事務局で保管していますが、個人情報保護のため掲載しませんでした：広報局）

日本ビジネスコミュニケーション学会 入会のご案内

■ 学会の目的

近年、国内外の多くの職域で「コミュニケーション力」の重要性が増しています。多くの企業は最も重要な採用条件として「コミュニケーション能力」をあげています。

コミュニケーションに関する意識の高まりの中で、ビジネスコミュニケーション研究を積極的に進めていくために、コミュニケーションの研究者だけでなく、他分野の研究者をはじめ各種企業、組織において活躍されているビジネスパーソンの方々など広く賛同者を募り、互いに啓発し共によりよいビジネスコミュニケーションのあり方を模索していきたく本学会を新しく立ち上げました。

新しい学会の目的は、ビジネスコミュニケーション学の理論的、実践的研究を行い、その成果を社会に発信し貢献することにあります。また、教育・研究者、企業の実務担当者、行政関係者、社会との連携を目指し、相互交流の場、機会を提供することにあります。

そこから実学的な研究成果が生まれ、実際のビジネスシーンに応用されることが期待されます。このような私たちの志にご賛同いただける方々のご参加を心よりお待ちしております。

■ 学会の活動

- 学術活動 年次大会の開催、専門部会、支部大会の開催
研究会、セミナーの随時開催
連合ゼミ学生の活動
- 学会情報誌「ニューズレター」の発行、学会ホームページの開設と各種情報の発信
学会誌の発行
- 学会運営 事務局・学術局・広報局・支部における運営委員会

■ 学会の入会

- 正会員 学会学術活動、研究発表、学会ニューズレター・学会誌の受信
セミナーの参加、その他学会活動への優先参加資格
- 正会員会費 年会費 7000円
- 学生会員については別途規定します

■ 入会の申し込み方法

- 申し込み用紙は ニューズレター第1号8頁、または事務局より入手ください
- 申し込み先
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14
拓殖大学 商学部 長尾研究室内 日本ビジネスコミュニケーション学会事務局
電話 03-3947-9234 E-mail: mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp

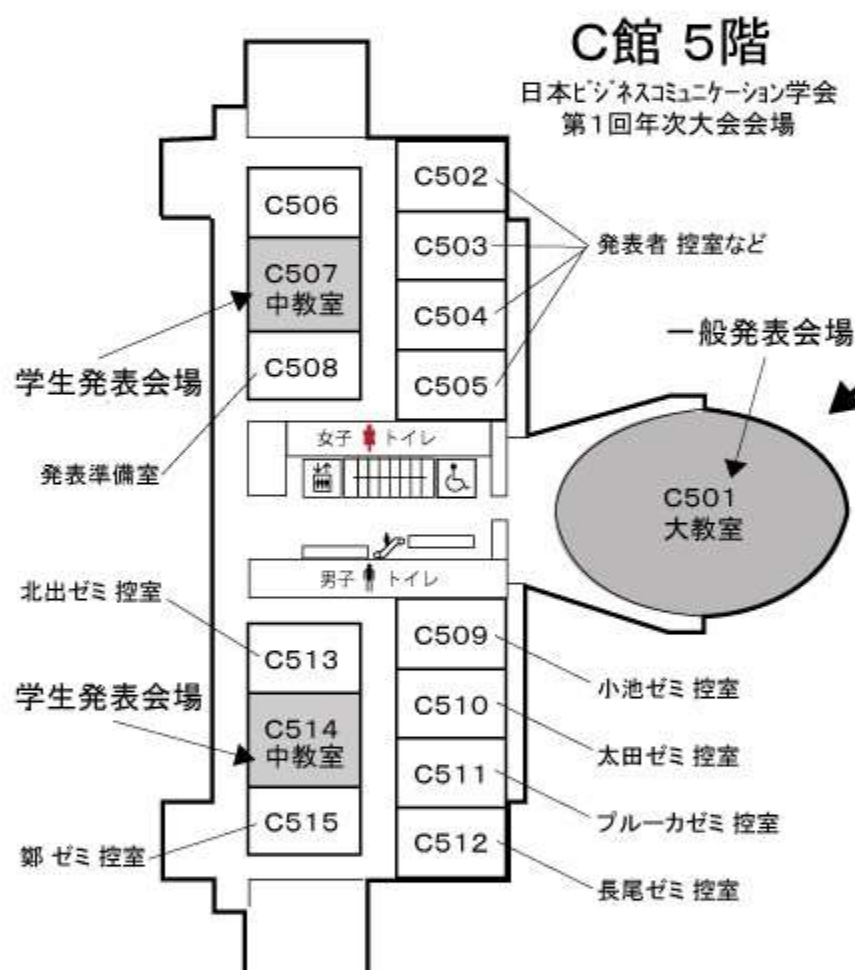
会員のかたへ・・・入会希望者、問い合わせされた方へこのページをコピーしてお渡しください

大会と懇親会のご参加 --- お申し込みはお早めに！

年次大会は9月12日（土）と13日（日）です。また、1日目の17時から懇親会を開催します。参加者のみなさまがお互いに意見交換、情報交換する場となれば幸いです。ぜひご参加ください。準備の都合上、下記の要領で「大会参加」と「懇親会参加」を事務局までお申し込みください。

- ・大会日時：9月12日（土）・13日（日）
- ・大会場所：拓殖大学 C館5階
- ・大会参加費：会員は無料（当日入会可）
（2日間） 非会員は4,000円
- ・懇親会日時：9月12日（土）17時～19時
- ・懇親会場所：拓殖大学 H館1階
- ・懇親会会費：3,500円

- 申し込み期限：8月31日（月）（やむを得ない事情があるときは当日も受け付けます）
- 申し込み方法：メールにて参加者のお名前を事務局 mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp まで



年次大会会場のご案内

丸ノ内線 茗荷谷下車徒歩5分



大会へ著書ご寄贈のお願い

会場に著書頒布コーナーを開設する企画があります。ご寄贈本がありましたら書名と冊数を事務局に大会前にご連絡ください。

学会ホームページを準備しています

現在、学会のホームページを大会前に開設できるように準備中です。ご期待ください。（担当：広報局 青柳）

日本ビジネスコミュニケーション学会

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14

拓殖大学商学部 長尾研究室内 広報局

電話 03-3947-9234

Email: mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp